

多自然川づくり取り組み事例

タイトル：美歎川ふるさとまちづくり支援事業		
水系/河川名：千代川水系/美歎川	河川分類：中小河川	
河川の流域面積：13.2km ²	整備計画流量：90m ³ /s(W=1/50)	セグメント：1
事業：環境整備	事業開始年度	平成28年度
目標設定：なし	段階	A(フィードバック時)
課題・目的(主な)：水際域の保全・再生・創出、水辺へのアクセス改善		
工法(主な)：護岸整備、樹木伐採、除根		
配慮事項(主な)：河川景観への配慮、委員会、協議会等の開催		

背景・課題、目標設定

重要文化財旧美歎水源地水道施設の保存整備にあわせて隣接して流れる美歎川の河川環境整備を行い、川に親しみやすい環境を創出した。

水源地保存会や河川の草刈ボランティアを行っている地域住民と協議した上で、過剰な植生の繁茂が生じないような低水護岸の構造を決定した。

地元の想いとしては、維持管理の観点からできる限り河川内に草が繁茂しないことを望んでおり、多自然川づくりの考え方やどう折り合いをつけるのか、地域の川として魅力的な川とはどのようなものなのか、を協議しながら事業を進めた。

取り組み内容・対策例



着工前



完成

- ・河道内に草が過剰に繁茂
- ・河川に親しめない
- ・周辺施設との不調和
- ・地元が維持管理を行うのは困難

- ・周辺の水道施設整備にあわせて親水の低水敷L=165m(幅2.0m両岸)整備
- ・今後、滞筋に適度な植生が回復することを期待
- ・地元が維持管理を実施

モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針



- ・河道内の過剰な植生繁茂を抑制
- ・周辺施設との調和
- ・地元による維持管理



下流域の状況

- ・地元の想い
自然は周辺に十分ある植生にはあえて否定的高齢化が進み
地元による管理が困難

備考

みたに
美歎川ふるさとまちづくり支援事業

Keywords : 水辺へのアクセス改善, 護岸整備, 地域連携

Before



After



国指定重要文化財「旧美歎水源地水道施設」の保存整備にあわせて、水際へのアプローチがしやすいよう低水敷を整備した。計画にあたっては、施設保存会や地域住民と協議したうえで、河床内の過剰な草繁茂を抑える構造とした。